

## 2) 経営成績及び財政状態

### 1. 当期第3四半期の連結業績概要

2006年10月1日から12月31日までの2007年3月期第3四半期の連結業績は次のとおりです。

当期第3四半期における当社グループの連結業績は、売上高2,232億53百万円(前年同期2,226億54百万円、前年同期比0.3%増)、営業利益231億41百万円(前年同期212億91百万円、前年同期比8.7%増)、継続事業税引前当期純利益260億48百万円(前年同期220億11百万円、前年同期比18.3%増)、当期純利益196億69百万円(前年同期165億68百万円、前年同期比18.7%増)、1株当たり当期純利益金額148円69銭(前年同期125円31銭)となりました。

当期第3四半期における対米ドル及びユーロの平均円レートは、117円83銭、151円95銭と前年同期の為替レートに比べそれぞれ0.4%の円安、9.0%の円安となりました。この為替変動による影響額は、売上高で約24億円の増加、営業利益で約2億円の増加となりました。

#### <部門別売上高の概況>

当社グループは、事業を(1)電子素材部品部門と(2)記録メディア製品部門の2つに区分し、各部門の概況を説明しております。

#### (1)電子素材部品部門

当部門は、(1-1)電子材料(1-2)電子デバイス(1-3)記録デバイス(1-4)その他電子部品の4つの製品区分で構成されます。

当部門の連結業績は、売上高1,945億41百万円(前年同期1,920億91百万円、前年同期比1.3%増)、営業利益230億8百万円(前年同期221億99百万円、前年同期比3.6%増)となりました。当期第3四半期はエレクトロニクス産業にとって需要期であることから、薄型テレビやノートPC(パーソナルコンピュータ)、デジタルオーディオプレイヤーの生産が好調でした。また携帯電話はBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)を中心に新規需要が順調に増大し、自動車の電装化も進展しました。その結果、これらの機器に使用される電子部品の需要は好調に推移しました。このような市場環境の下、当社の電子素材部品部門の売上概況を製品別にみますと、次のとおりです。

#### (1-1)電子材料

当製品区分は「コンデンサ」、「フェライトコア及びマグネット」の2つで構成されます。

当製品区分の売上高は、502億95百万円(前年同期476億13百万円、前年同期比5.6%増)となりました。

「コンデンサ」:売上高は前年同期比で増加しました。主要品目である積層セラミックチップコンデンサが、主にPC向けで販売が好調だったことが増収の主な要因です。

「フェライトコア及びマグネット」:売上高は前年同期比で増加しました。フェライトコアは、一部製品の終息に伴い減収となりました。マグネットは、フェライト磁石、金属磁石がともに増収となりました。

#### (1-2)電子デバイス

当製品区分は「インダクティブ・デバイス」、「高周波部品」及び「その他」の3つで構成されます。

当製品区分の売上高は、505億48百万円(前年同期469億79百万円、前年同期比7.6%増)となりました。

「インダクティブ・デバイス」:売上高は前年同期比で増加しました。電源系コイルと積層製品が携帯電話向けで増収となったことが主な要因です。

「高周波部品」:売上高は前年同期比で減少しました。販売数量の減少と売価下落が主な要因です。

「その他」:売上高は前年同期比で増加しました。センサ・アクチュエータは売価下落の影響を受け減収となりましたが、パワーシステムの増収により、「その他」は増収となりました。

#### (1-3)記録デバイス

当製品区分は「HDD用ヘッド」、「その他ヘッド」の2つで構成されます。

当製品区分の売上高は、767億84百万円(前年同期857億36百万円、前年同期比10.4%減)となりました。

「HDD用ヘッド」:売上高は前年同期比で減少しました。HDDは、PC向けの需要が伸びているだけでなく、その他の民生用機器への搭載も広がりを見せています。このようなHDD需要増に支えられ、当社のHDD用ヘッドの販売数量はHDD業界再編の影響を吸収して増加しました。しかしながら、HDDメーカー間のシェア争いに起因する売価下落の影響が販売数量の増加効果を上回り、HDD用ヘッドの売上高は減少しました。

「その他ヘッド」:売上高は前年同期比で減少しました。

#### (1-4)その他電子部品

当製品区分の売上高は、169億14百万円(前年同期117億63百万円、前年同期比43.8%増)となりました。半導体製造装置等、新製品の増収が主な要因です。

#### (2)記録メディア製品部門

当部門は「オーディオ・ビデオテープ」、「光メディア」及び「その他」の3つで構成されます。

当部門の売上高は287億12百万円(前年同期305億63百万円、前年同期比6.1%減)、営業利益は1億33百万円(前年同期9億8百万円の営業損失、前年同期比10億41百万円の改善)となりました。

「オーディオ・ビデオテープ」:売上高は前年同期比で減少しました。依然高い市場シェアを維持していますが、構造的に需要が縮小していることが主な要因です。

「光メディア」:売上高は前年同期比で増加しました。CD-RとDVDの単価は引き続き下落しているものの、いずれも販売数量の増加に伴い売上高が増加しました。

「その他」:売上高は前年同期比で減少しました。コンピュータ用データストレージテープ LTO\* (Linear Tape-Open)は増収となりましたが、一部製品を終息させたことによる減収を吸収できませんでした。

\* Linear Tape-Open, LTO, LTOロゴ, Ultrium, Ultriumロゴは、Hewlett-Packard Ltd, IBM Corporation, Quantum Corporationの米国及びその他の国における商標です。

<地域別売上高の概況> 詳細については14ページのセグメント情報をご参照ください。

「国内」の売上高は増加しました。記録デバイス製品区分、記録メディア製品部門を除き増収となりました。

「米州地域」の売上高は増加しました。電子材料製品区分、記録メディア製品部門を除き増収となりました。

「欧州地域」の売上高は減少しました。その他電子部品区分、記録メディア製品部門が減収となりました。

「アジア他の地域」の売上高は減少しました。記録デバイス製品区分、記録メディア製品部門が減収となりました。

この結果、海外売上高の合計は、前期第3四半期の1,791億39百万円から0.4%減の1,785億4百万円となり、連結売上高に対する海外売上高の比率は、前期第3四半期の80.5%から0.5ポイント減少し80.0%となりました。

## 2. 財政状態

### (1) 当期第3四半期末の資産、負債及び株主資本の状況

・総資産	9,759億96百万円	(当期中間期末比	1.7%増)
・株主資本	7,443億96百万円	(同	2.7%増)
・株主資本比率	76.3%	(同	0.7ポイント増)

当期第3四半期末は、当期中間期末比で現金及び現金同等物が32億33百万円、短期投資が67億76百万円、売上債権が18億48百万円及びたな卸資産が29億21百万円それぞれ増加したこと等により、資産合計は当期中間期末比165億84百万円増加しました。

負債は、仕入債務が56億12百万円減少した一方で、未払税金が20億61百万円増加したことにより、負債合計で当期中間期末比32億円の減少となりました。

資本は、その他の剰余金が134億66百万円増加し、その他の包括利益(損失)累計額の減少58億90百万円が増加要因となったため、資本合計は当期中間期末比192億39百万円増加しました。

### (2) 当期第3四半期のキャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	当期第3四半期	前期第3四半期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,970	20,058	8,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,747	44,542	22,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,445	4,310	2,135
非継続事業によるキャッシュ・フロー	-	-	-
為替変動の影響額	2,455	4,978	2,523
現金及び現金同等物の増加(減少)	3,233	23,816	27,049
現金及び現金同等物の期首残高	264,833	224,645	40,188
現金及び現金同等物の期末残高	268,066	200,829	67,237

・営業活動によって得たキャッシュ・フローは、前年同期比89億12百万円増加し289億70百万円となりました。継続事業当期純利益は31億1百万円増の196億69百万円、減価償却費は16億42百万円増の167億80百万円となりました。資産負債の増減において、たな卸資産が22億91百万円増加している一方、売上債権が188億92百万円、仕入債務が71億42百万円及び未払費用等が59億84百万円それぞれ減少しております。

・投資活動に使用したキャッシュ・フローは、前年同期比227億95百万円減少し217億47百万円となりました。有形固定資産の取得が62億31百万円減の151億22百万円となったことに加え、前期第3四半期における事業の買収 - 取得現金控除後に係る支出242億2百万円及び当期第3四半期における短期投資の売却に係る収入50億16百万円がそれぞれ減少要因となっている一方、当期第3四半期における短期投資の取得に係る支出117億4百万円が増加要因となっております。

・財務活動に使用したキャッシュ・フローは、前年同期比21億35百万円増加し64億45百万円となりました。長期借入債務の返済額の増加5億2百万円に加え、1株当たり配当金を10円増額したことによる配当金支払13億29百万円が増加要因となっております。

### 3. 2007年3月期の業績見直し

2007年3月期の業績見直しは次のとおりです。

【連結業績見直し】

(単位:百万円、%)	2007年1月発表	2006年3月期 実績	前期比		2006年10月発表
	2007年3月期 業績見直し		増減額	増減率(%)	2007年3月期 業績見直し
売上高	853,000	795,180	57,820	7.3	820,000
営業利益	82,000	60,523	21,477	35.5	82,000
継続事業税引前 当期純利益	88,000	66,103	21,897	33.1	88,000
当期純利益	63,000	44,101	18,899	42.9	61,000

(注記)

通期業績見直し変更の理由は次のとおりです。

\* 事業環境

第3四半期における受動部品需要は年末商戦需要を反映して好調でした。2007年1月に入り、当社部品受注を左右するデジタル家電、携帯電話等の主要製品の年明け後の在庫状況も概ね適切なレベルにあるとの情報を得ております。従い、第4四半期におきましては、大幅な在庫調整の可能性は低く、最終需要の動きを反映した部品需要になるであろうと予想いたしました。その結果、通期売上高は前回見直し額よりも増加するものと見通しております。

一方、営業利益に関しましては、主要部品に対する強い値引き要請及びその他要因を考慮した結果、前回見直しと同額を予想しております。

\* 為替の見直し

当期第4四半期の対米ドル円平均レートは、第3四半期と同水準の118円を想定しております。

主要製品の見直しは次のとおりです。

\* 電子材料製品及び電子デバイス製品

これら製品の主要な仕向け先であるデジタル家電製品、携帯電話向け部品の需要増を反映し、前期比、増収の見直しとしております。

\* 記録デバイス製品

主力製品であるHDD用ヘッドにつきましては、HDD業界再編の影響を吸収し、数量ベースでは前期比増加するものと予想しております。しかし、売価下落の影響を完全に吸収するのは困難と想定し、本製品売上高は、前期比、減少の見直しとしております。

\* 記録メディア製品

需要減少によるオーディオ・ビデオテープ製品の減収、その他製品の減収が響き、前期比減収を見込んでおります。

### 4. 事業等のリスク

当社グループは、世界各国に生産、販売及び開発拠点を有し、グローバルに事業展開しています。

また、当社グループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は、技術革新や市場価格の変化が激しく、競合各社間の製品開発や顧客獲得に係る競争も熾烈を極めております。

このため、当社グループにおける事業のリスクには、世界経済の動向に起因する需要変動や為替変動、海外事業展開における予測不能な事態、急速な技術革新に伴う新製品開発競争の激化、熾烈な価格競争と多様化する顧客要求、製品の品質問題、人材の獲得競争、政府機関の規制、知的財産権の侵害、主原材料の調達、国際的に強化が進む環境規制、自然災害などが挙げられます。

## 【 将来に関する記述についての注意事項 】

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDK グループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価などといった、将来に関する記述が記載されています。これらの将来に関する記述は、TDK グループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDK グループの将来の実績、経営業績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDK グループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDK グループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更などがあります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。